

国分寺市障害者計画実施計画の実施状況について(平成27年度)
国分寺市障害福祉計画の実施状況について(平成27年度)

— 各委員からの意見(概要) —

国分寺市障害者計画実施計画の実施状況についての意見(概要)

重点事業	事業番号	事業名	担当課	意見の内容	委員名
1: 障害に対する理解や配慮の促進	18	声の広報発行事業	市政戦略室	視覚障害の方に情報を届ける手立てがあまりないことから、市報CDの配布などを進め、対面朗読事業等の周知を図ってほしい。	阿部委員
	-	-	-	多くの事業があることをほとんど知らない状況があるので、情報提供体制の充実を図ってほしい。	福島委員
2: 相談支援体制の充実	31 33	・福祉の総合的な相談窓口の体制整備 ・相談支援	障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所8事業所のうち、委託相談を受けているのは4事業所で平成25年度から増えていない。実施地域も偏りがあるため、地域包括ケアの考えのもと、身近な地域での相談体制を整備する必要がある。 地域福祉事業協力員と相談支援事業所が連携できる仕組みづくりが必要。 総合相談窓口の体制整備にあたっては、障害、高齢、児童という範疇に入らない人たちの支援がどのように行われているかを参考にしてほしい。 障害児の相談支援について、専門職の見立てをもらいながら総合的に支援する体制が必要。 	阿部委員
	45	障害児(者)の個別支援システムの構築	子育て相談室	障害福祉サービス等利用者については連携が可能だが、特別支援学校等からの情報提供がない場合などで、引きこもりになるケースもある。	阿部委員
	-	-	-	特別支援教室、インクルーシブ教育等の課題について、教育と福祉の連携を図るよう自立支援協議会での検討課題としてほしい。	柴田委員
その他	-	-	-	見た目に難しいため、もう少しシンプルなものがよい。ニーズの捉え方についても考えた方がよい。	奥澤アドバイザー
	-	-	-	27年度実績については、目標値と実績値の対比においては十分に評価できる。ただし、障害者福祉は数字で図ることが困難なものであり、数値目標やその管理だけでなく、中身の充実を図ってほしい。	中西委員

国分寺市障害福祉計画の実施状況についての意見(概要)

事業	意見の内容	委員名
障害福祉サービス等	就労支援センターの登録者以外にも潜在的なニーズはある。この協議会での議論を通していい支援につなげていきたい。	藤田委員
	生活介護, 就労継続A型, 就労継続B型の達成率が100%を超えているが, 100%以上あるから市民ニーズが満たされているとはならない。生活介護は送迎の必要もあり市内事業所への希望が多い。障害の重さに関わらず地域で生活できる体制づくりが必要。	阿部委員
	共同生活援助の達成率が100%を超えているが, 利用希望があってもサービスがないため利用できない方がいる。事業所としては開設にあたり土地や建物の課題があるため, 市において, 遊休地や空き家などの情報発信, 近隣の住民理解への支援が必要。	阿部委員
	共同生活援助について, 平成29年度見込み量100人は不十分である。生活介護, 就等継続B型についても, 市内事業所が不足しており, 見込み量の妥当性を検討してほしい。	柴田委員
障害福祉サービス等 地域生活支援事業	保護者の高齢化に伴うサービス利用ニーズについても, 見込むことが重要。 成年後見の利用支援事業の実績は1だが, 実際のニーズはもう少しあるのではないか。	中西委員
	居宅介護, 同行援護, 移動支援の実績が見込み量を下回っているが, 支給決定を受けてもヘルパー不足の為, 実績としてあがってこないと思われる。ヘルパー充足のため, 先進地区の取組みを参考に地域にあった方法を工夫する必要がある。ヘルパーのレベルアップ研修についても, 自立支援協議会での議論が必要。	阿部委員
地域生活支援事業	移動支援について, ヘルパーが不足して利用できない状況。単価を改善すると共に柔軟な運用やヘルパー養成などの対策が必要。	柴田委員